



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月12日

上場会社名 株式会社 テーオーシー
 コード番号 8841 URL <http://www.toc.co.jp/toc/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷卓男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役事務管理部門担当 (氏名) 石田雅彦

TEL 03-3494-2111

四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	13,646	2.6	4,806	27.8	4,963	63.0	3,464	85.8
30年3月期第3四半期	14,006	13.7	3,760	26.6	3,044	40.6	24,334	597.2

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 2,986百万円 (87.9%) 30年3月期第3四半期 24,678百万円 (557.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	33.72	
30年3月期第3四半期	202.43	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	114,277	89,927	78.0	877.25
30年3月期	126,666	89,245	69.9	857.02

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 89,173百万円 30年3月期 88,587百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		6.50		4.50	11.00
31年3月期		4.50			
31年3月期(予想)				4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当4円50銭 記念配当2円00銭

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,300	2.0	5,700	6.9	5,800	25.6	3,800	85.1	36.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	103,879,352 株	30年3月期	103,879,352 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	2,227,703 株	30年3月期	512,024 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	102,743,950 株	30年3月期3Q	120,213,012 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) その他	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(四半期連結損益計算書関係)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成30年4月1日～平成30年12月31日)における当社グループの主力事業であります不動産賃貸事業におきましては、東京都心部を中心に企業のオフィス需要は引き続き底堅く、入居率、賃料水準とも堅調に推移しております。また、商業ビルにおきましては、個人消費は雇用・所得環境の改善から緩やかに持ち直しているものの、物価の上昇による買い控えや天候不順等の影響を受け依然予断を許さない状況が続いております。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は13,646百万円(前年同四半期比2.6%減)、営業利益は4,806百万円(前年同四半期比27.8%増)、経常利益は4,963百万円(前年同四半期比63.0%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第1四半期連結会計期間に所有ビルの売却益30,435百万円を計上した反動減等により、3,464百万円(前年同四半期比85.8%減)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

不動産事業におきましては、ビルの特性に応じたテナント獲得の強化に取り組みましたが、前第1四半期連結会計期間に所有ビルを売却したことにより不動産事業関連における売上高が減少しました。当事業での売上高は10,631百万円(前年同四半期比3.2%減)となり、営業利益は、前第1四半期連結会計期間に計上した有害物質(ポリ塩化ビフェニル廃棄物)の廃棄等の費用が減少したことにより、4,553百万円(前年同四半期比30.9%増)となりました。

リネンサプライ及びランドリー事業におきましては、大口顧客先であるホテルからの受注が堅調に推移し、売上高は1,389百万円(前年同四半期比2.6%増)となりましたが、営業利益は112百万円(前年同四半期比3.7%減)となりました。

その他におきましては、ビル管理関連サービス事業が請負工事の受注増等で増収増益となりましたが、製菓事業は主力製品の販売減により減収減益となり、温浴施設事業でも利用者数の減少により減収となりました。この結果、その他での売上高は1,625百万円(前年同四半期比2.6%減)となり、営業利益は131百万円(前年同四半期比16.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、次のとおりであります。

資産合計は、前連結会計年度末に比べ12,388百万円減少し114,277百万円となりました。主な減少は、現金及び預金が10,410百万円及び有形固定資産が1,125百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ13,071万円減少し24,350百万円となりました。主な減少は、未払法人税等が9,151百万円、短期借入金が1,833百万円及び未払消費税等が1,814百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ682百万円増加し89,927百万円となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益3,464百万円であり、主な減少は、自己株式の取得1,378百万円及び剰余金の配当926百万円であります。

自己資本比率は、前連結会計年度末の69.9%から当第3四半期連結会計期間末は78.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

不動産事業では、都心部を中心にオフィス需要が堅調であり、賃料水準も底堅く推移しております。今後、オフィスビルを中心とした賃貸マーケットは安定的に推移するものと思われ、当社グループにおける業績予想につきましては、平成30年5月15日発表の予想数値の変更はありません。

(4) その他

これまで当社決算短信等においてお知らせして参りましたが、TOCビル(東京都品川区西五反田7丁目22番所在。なお、TOCフロントビルも対象に含まれます。)の建替えを行うことにつきまして、同所での開発事業計画を引き続き検討しております。

現在、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新とを図るため高度利用地区等の都市計画法の手法を活用すべく、行政機関を含めた関係各所との間で、事業計画に関する協議を進めております。建物規模、施工スケジュール等につきましては、現段階では決定されておられません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,270	35,859
受取手形及び営業未収入金	743	846
商品及び製品	11	16
仕掛品	17	24
原材料及び貯蔵品	176	169
その他	174	170
貸倒引当金	△47	△38
流動資産合計	47,347	37,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,089	26,842
機械装置及び運搬具(純額)	422	385
土地	27,757	27,822
建設仮勘定	40	130
その他(純額)	114	118
有形固定資産合計	56,424	55,299
無形固定資産		
借地権	7,076	7,076
施設利用権	17	17
その他	31	26
無形固定資産合計	7,126	7,120
投資その他の資産		
投資有価証券	14,673	13,859
保険積立金	735	633
繰延税金資産	22	10
その他	338	306
投資その他の資産合計	15,768	14,811
固定資産合計	79,319	77,231
資産合計	126,666	114,277

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	44	37
短期借入金	4,958	3,124
1年内償還予定の社債	1,640	1,505
1年内返済予定の長期借入金	1,517	2,557
未払金	1,185	495
未払消費税等	1,986	172
未払法人税等	9,715	564
前受金	855	963
賞与引当金	90	25
その他	1,076	1,115
流動負債合計	23,071	10,561
固定負債		
長期借入金	1,786	862
長期預り保証金	8,327	8,671
役員退職慰労引当金	338	353
環境対策引当金	460	478
退職給付に係る負債	586	417
資産除去債務	165	165
繰延税金負債	2,681	2,838
その他	4	0
固定負債合計	14,350	13,788
負債合計	37,421	24,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,768	11,768
資本剰余金	9,326	9,326
利益剰余金	63,014	65,552
自己株式	△354	△1,733
株主資本合計	83,754	84,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,833	4,259
その他の包括利益累計額合計	4,833	4,259
非支配株主持分	657	753
純資産合計	89,245	89,927
負債純資産合計	126,666	114,277

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	14,006	13,646
売上原価	8,453	7,520
売上総利益	5,552	6,126
販売費及び一般管理費	1,791	1,319
営業利益	3,760	4,806
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	279	210
持分法による投資利益	25	22
その他	38	34
営業外収益合計	345	268
営業外費用		
支払利息	108	56
自己株式取得費用	488	12
環境対策引当金繰入額	433	18
その他	31	24
営業外費用合計	1,061	111
経常利益	3,044	4,963
特別利益		
固定資産売却益	※1 30,435	-
投資有価証券売却益	2,128	-
退職給付制度終了益	-	128
特別利益合計	32,563	128
特別損失		
借入金繰上返済費用	297	-
特別損失合計	297	-
税金等調整前四半期純利益	35,310	5,091
法人税、住民税及び事業税	11,604	1,108
法人税等調整額	△666	422
法人税等合計	10,938	1,530
四半期純利益	24,372	3,561
非支配株主に帰属する四半期純利益	37	96
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,334	3,464

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	24,372	3,561
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	306	△574
その他の包括利益合計	306	△574
四半期包括利益	24,678	2,986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,640	2,890
非支配株主に係る四半期包括利益	37	96

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 固定資産売却益の内訳

前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

当社所有の「TOCみなとみらい」の建物及び土地等の売却によるものであります。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産事業	リネンサプライ 及びランド リー事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,982	1,353	12,336	1,669	14,006	—	14,006
セグメント間の内部 売上高又は振替高	517	34	552	57	609	△609	—
計	11,500	1,388	12,888	1,727	14,615	△609	14,006
セグメント利益	3,477	117	3,594	158	3,753	7	3,760

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理関連サービス事業、製菓事業、スポーツクラブ事業及び温浴施設事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額7百万円には、セグメント間取引消去5百万円、減価償却の調整額1百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(固定資産の譲渡による資産の著しい減少)

第1四半期連結会計期間において、固定資産を譲渡し、前連結会計年度の末日に比べ「不動産事業」のセグメント資産が35,868百万円減少しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産事業	リネンサプライ 及びランド リー事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,631	1,389	12,020	1,625	13,646	—	13,646
セグメント間の内部 売上高又は振替高	482	33	516	58	575	△575	—
計	11,114	1,422	12,537	1,684	14,221	△575	13,646
セグメント利益	4,553	112	4,666	131	4,798	7	4,806

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理関連サービス事業、製菓事業、スポーツクラブ事業及び温浴施設事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額7百万円には、セグメント間取引消去6百万円、減価償却の調整額1百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。